

## 人事委員会議事録（第1615回）

### 1 開催日時

令和元年 8月29日（木） 15：00～16：20

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	竹田佑一	委員
	鈴木尉久	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	門田高弘	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1614回）について審議の結果、原案どおり承認した。

### 第2号議案

#### 採用選考の件

任用課長が、警察本部長から請求のあった採用選考（発令予定令和元年9月13日）について説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員からの質問）

採用候補者を警察庁へ出向させた理由は、国際テロ対策分野を学ばせるためか。

（事務局）

外国語大学出身で語学も堪能なので、その経歴を生かして経験を積んで欲しいということを出向させていた。

### 第3号議案

#### 行政A（大卒程度）採用試験最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の最終合格者（案）を諮り、決定されれば8月30日に合格発表を行う予定であること等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員からの質問）

集団討論はどれくらいの時間、人数で行うのか。

(事務局)

30分、最大8名で行っている。進行も受験者が行う。

(委員からの質問)

集団討論の評定結果が個別面接と比べて大きく下がっている者がいるが、8名もいると全く話していない者がいるということか。

(委員長)

集団討論の試験員を務めたが、発言はかなり多かった。話さずに終わってしまう受験者はいない。評価は話す内容による。

(委員からの質問)

特色のある合格者はいるのか。

(事務局)

例えば、学業優秀で学内上位10%の者や、大企業からの転職、Uターン者、あるいは体育会系で大きな大会で顕著な実績を上げた者などバランス良く合格決定できている。

(委員からの質問)

首都圏から帰ってくる者もいるのか。

(事務局)

一定数いる。

#### 第4号議案

##### 経験者採用試験（令和元年度）実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員からの質問)

A（30～34歳）とB（25～29歳）で区分を分けているが、年齢が偏らないためか。

(事務局)

職員の年齢構成を踏まえ募集をしている。

(委員からの質問)

募集数はどれくらい増えるのか。

(事務局)

平成30年度は合計44人であったが、今年度は60人を予定している。

(委員からの質問)

2次試験は、1日で個別面接（①、②）と集団討論の全てを行うのか。

(事務局)

そのとおりである。行政A採用試験では個別面接の①と②を別日程で行っているが、経験者採用試験ではこれらを1日で行っている。

(委員からの質問)

同日に行うため、個別面接①の情報が個別面接②に行く時間はないのか。

(事務局)

情報を届ける時間的な余裕がない。

(委員からの質問)

個別面接の①と②で評価が分かれることはあるのか。

(事務局)

行政A採用試験でも評価が分かれることもある。

## 報告事項 1

### 警察官採用試験（第1回）の実施結果

任用課長が、標記試験の実施結果等を報告した。

(委員からの質問)

募集数630名は全ての試験の合計か。最初から全てを募集するわけではないのか。

(事務局)

例えば1回目の試験は大学卒見込や高校既卒者を、2回目の試験は主に高卒見込者を対象としており、想定している対象者が異なるため分けて募集している。

(委員からの意見)

男女の募集人数について、算定の基礎を説明して欲しい。配属先や業務内容で整理するのだろうが、男女どちらでも働けるところもあるのではないかと思う。

(事務局)

第2回試験の実施結果報告時にあわせて報告する。

## 報告事項 2

### 人事院勧告（令和元年）

## 報告事項 3

### 給与勧告等に関する要請書等

給与課長が、令和元年8月7日に行われた令和元年人事院勧告の概要及び同月9日付けの全国人事委員会連合会に対する職員団体からの要請書の内容等について報告した。

(委員からの質問)

今年の本県の報告・勧告では、住居手当や職員の実態を調査したパークアンドライドに係る駐車場代の通勤手当支給の可否等が検討項目になってくるのか。

(事務局)

その予定である。調査結果等をまとめて今後お諮りさせていただく。

## 報告事項 4

### 任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会が行った1件の分限処分及び警察本部長が行った1件の懲戒処分内容及び理由を説明した。

## 報告事項 5

### 職員採用PR動画作成プロポーザルの実施

任用課長が、標記プロポーザルの実施内容について説明した。

(委員からの意見)

想定されている期間で動画を作成できるのか。素材を集めないといけないし、シナリオを一緒に作り上げていく時間も必要である。

(事務局)

広報戦略課に相談したところ可能ということであった。

(委員からの質問)

プロポーザルの審査委員会では、動画の作成業者を決定するだけで、動画の内容は決定した業者と協議しながら決定するということか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員からの意見)

審査会の時に、業者がこれまでに作成した動画を見られるとよいのではないか。

**閉 会**